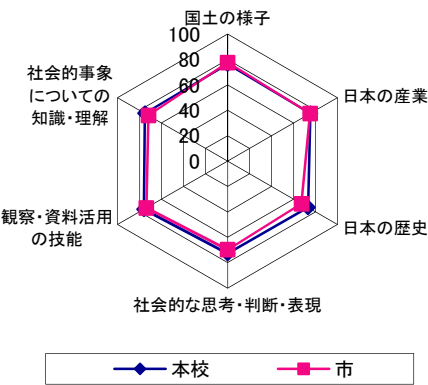


宇都宮市立宝木小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	国土の様子	76.4	77.6	77.6
	日本の産業	75.4	75.1	67.5
	日本の歴史	73.1	67.2	62.0
観点別	社会的な思考・判断・表現	72.7	69.7	64.7
	観察・資料活用	76.1	73.8	68.5
	社会的な事象についての知識・理解	75.1	72.0	67.7

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の様子	○日本の周辺の海洋名については、市の正答率を3.0ポイント上回っている。 ●日本の周囲の国の国旗や日本の国土の位置については、市の正答率をそれぞれ3ポイント、10.0ポイント下回っており、苦手な傾向がある。	・教室内に日本地図や世界地図などを常に掲示し、児童がいつでも地図を確認できる環境を整える。 ・大まかな日本地図を描く活動や白地図に調べた内容を書き入れるなどの作業的な学習を取り入れたり、クイズ形式を取り入れたりすることで、名称や位置をしっかりと理解させていく。
日本の産業	○日本の食料生産について、概ね市の正答率とほぼ同程度であり、理解できている。 ●日本の工業生産については、工業の移り変わりの選択肢問題や、自動車輸出の貨物船利用の理由記述が市の正答率をそれぞれ9.0ポイント、0.6ポイント下回っている。	・資料について、題名や記号、数値など必要な箇所を落とさずに見比べ、正しく読み取り判断できるように指導していく。 ・記述式の解答に慣れるために、普段の授業の中で授業の要点をまとめさせるなど、言語活動に比重をおいた活動を取り入れていく。
日本の歴史	○日本の歴史に関しては、市の正答率に比べ、5.9ポイント上回っており、よく理解できている。 ○「縄文時代～室町時代」については、どの問題も市の正答率を1ポイントから11.0ポイント上回っている。 ●文明開化に関する記述問題では、市の正答率を6.0ポイント下回っている。	・時代の流れや日本と世界各国とのかかわりなどを、年表や地図、関係図等を活用し、再度まとめ直しさせるようにする。 ・各時代の代表的な歴史事象だけでなく、人物や政治、文化、外国とのかかわりなど、テーマごとに年表などにまとめる活動を取り入れていく。